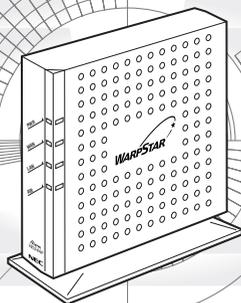


ワイヤレスアクセスポイント

取扱説明書

このたびは、『Aterm WL54AP』をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



はじめに

『Aterm WL54AP』は、有線 LAN に接続して IEEE802.11a 対応のワイヤレス LAN 子機のアクセスポイントとして使用することができます。

WL54AP と接続できる子機は、IEEE802.11a 対応の WL54AC となります。(2002 年 11 月現在)

WL11CA、WL11CB、WL11C、WL11U、WL11E、WL11E2 は IEEE802.11b 対応のため、子機としてご利用になることはできません。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、5.2GHz 帯域の電波を使用しています。屋外での使用は電波法により禁じられています。

2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b/Bluetooth 機器との通信はできません。

本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

電波干渉の事例よりお困りの場合には、NEC Aterm(エータム) インフォメーションセンターまたは NEC 保守サービス拠点までお問い合わせください。



Netscape®、Netscape Navigator® および Netscape Communicator® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

“PlayStation®” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。

JavaScript® は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

Windows® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	2
安全に正しくお使いいただくために	3
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 WL54AP ができること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
2 設置・接続	2-1
2-1 WL54AP を設置する	2-2
2-2 WL54AP を接続する	2-3
3 設定する	3-1
3-1 WL54AP を設定する	3-2
3-2 子機を使用する	3-19
3-3 WWW ブラウザでの設定について	3-20
4 お困りのときは	4-1
4-1 トラブルシューティング	4-2
4-2 WL54AP を初期化する	4-3
5 付録	5-1
5-1 WL54AP 製品仕様	5-2
5-2 お問い合わせ・アフターサービス	5-3

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

電源

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ（ACアダプタ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。他のACアダプタを使用すると火災、感電、故障の原因となります。

本商品添付のACアダプタ（電源プラグ）は日本国内用AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

警告

こんなときには

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水のいった容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

注意

設置場所

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

注意

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

電源

本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

雷が鳴りだしたら、電源コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は屋内約 12 ~ 90m です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。

STOP お願い

禁止事項

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

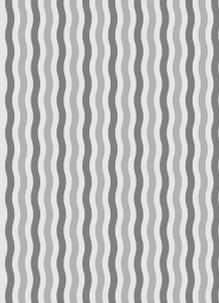
その他注意事項

通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

無線 LAN 接続は、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ遅くなる場合があります。

無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。



1

はじめにお読みください

1

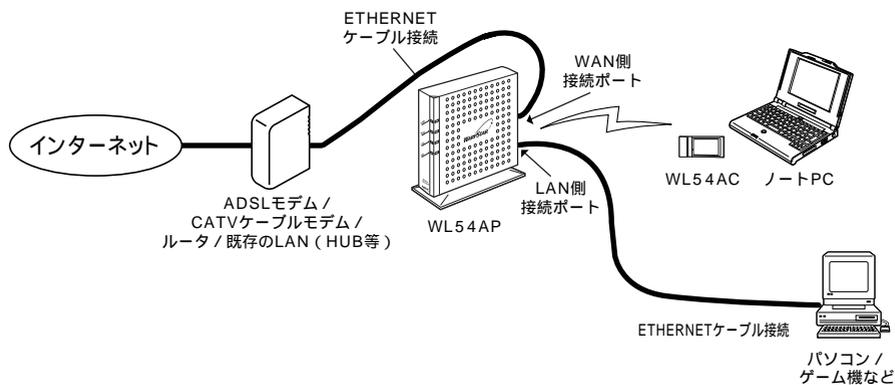
WL54AP を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

1-1	WL54AP ができること	1-2
1-2	添付品を確認する	1-3
1-3	各部の名前とはたらき	1-4

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1-1 WL54AP できること

本商品は IEEE802.11a に対応した WARPSTAR サテライト (WL54AC) のワイヤレス親機です。



WL54AP は、既存のルータに ETHERNET 接続することができます。

WL54AC 以外の WARPSTAR サテライト (子機) を増設することはできません。
(2002年11月現在)

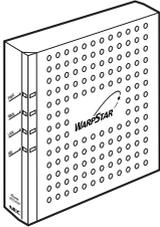
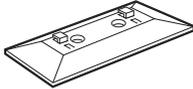
最新情報は、ホームページ Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) に
ご確認ください。

1-2 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

Aterm WL54AP ワイヤレス LAN セットの場合は、つなぎかたガイドの Step1 を参照して確認してください。

構成品

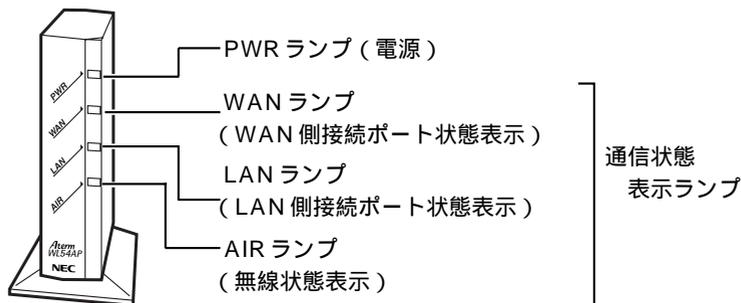
<p>WL54AP 本体</p> 	<p>スタンド</p> 
<p>AC アダプタ</p> 	<p>ETHERNET ケーブル(ストレート)</p> 
<p>取扱説明書(本書)</p> 	<p>保証書</p>

1

はじめにお読みください

1-3 各部の名前とはたらき

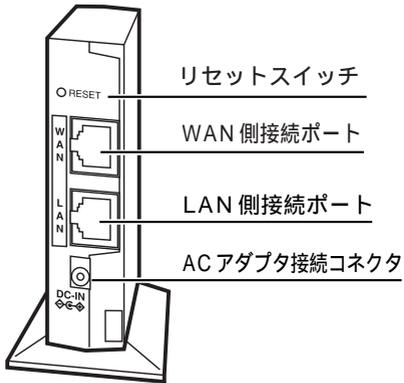
前面図



【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		説明
PWR (電源)	緑	点灯	電源が入っているとき
		点滅	装置起動中
	消灯		電源が入っていないとき
WAN (WAN側接続 ポート状態表 示)	緑 (リンク速度100Mbps)	点灯	WAN側接続ポートのリンクが100Mbpsで確立しているとき
		点滅	WAN側接続ポートでデータ送受信中(リンク速度100Mbps時)
	橙 (リンク速度10Mbps)	点灯	WAN側接続ポートのリンクが10Mbpsで確立しているとき
		点滅	WAN側接続ポートでデータ送受信中(リンク速度10Mbps時)
	消灯		WAN側接続ポートのリンクが確立していないとき
	LAN (LAN側接続 ポート状態表 示)	緑 (リンク速度100Mbps)	点灯
点滅			LAN側接続ポートでデータ送受信中(リンク速度100Mbps時)
橙 (リンク速度10Mbps)		点灯	LAN側接続ポートのリンクが10Mbpsで確立しているとき
		点滅	LAN側接続ポートでデータ送受信中(リンク速度10Mbps時)
消灯		LAN側接続ポートのリンクが確立していないとき	
AIR (無線状態表示)		緑	早点滅
	遅点滅		無線通信待機中

背面図



リセットスイッチ (RESET)
設定値を初期化するときに使
用します。
(☛P4-3)

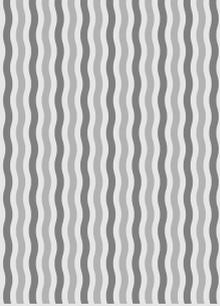
WAN 側接続ポート (WAN)
(100BASE-TX/10BASE-T)
ADSL モデム / CATV ケーブル
モデム / ルータ / 既存の LAN
(HUB 等) と接続
します。

LAN 側接続ポート (LAN)
(100BASE-TX/10BASE-T)
パソコンまたはゲーム機
などと接続しま
す。

AC アダプタ接続コネクタ
添付の AC アダプタを接続
します。

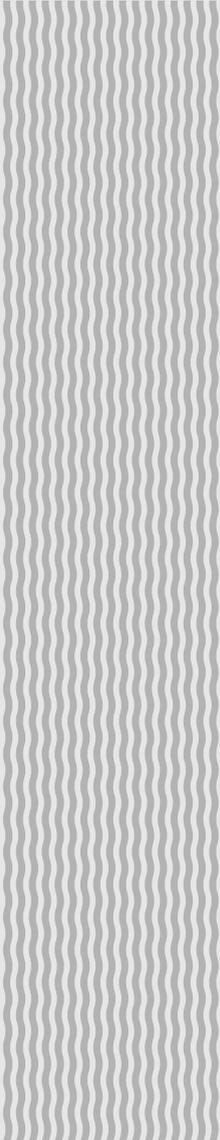
1

はじめにお読みください



2

設置・接続



2

- 2-1 WL54AP を設置する2-2
- 2-2 WL54AP を接続する2-3

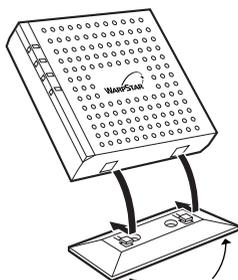
2-1 WL54AP を設置する

縦置きスタンドを取り付ける

図のように縦置きスタンドを取り付けます。

設置の際は無線状態を最適にするため垂直になるように設置してください。

また、スタンドは粘着シートで固定することができますので、底面の透明シートをはがしてお使いください。



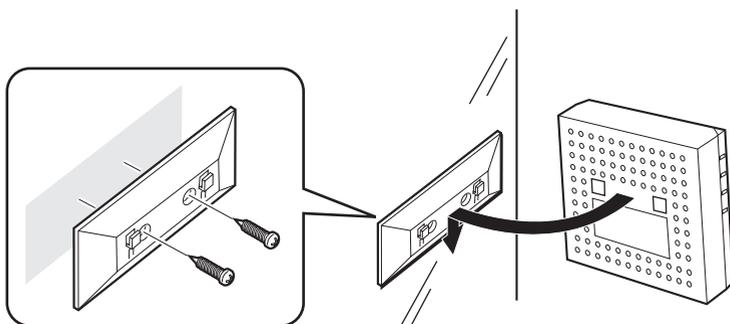
粘着シート（透明シートをはがしてお使いください。）



お知らせ

粘着シートは繰り返し付けることができますが、粘着性が低下することがあります。その場合は、水や中性洗剤等で洗うことにより、粘着性が戻ります。また、固定場所によっては、接着面の塗装等がはげる場合がありますので、ご注意ください。

図のように壁に取り付けることもできます。

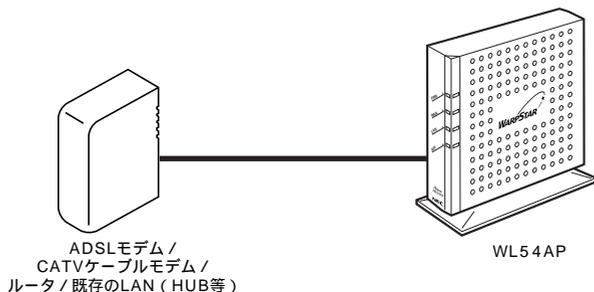


壁にとりつける際は粘着シートではなく、ネジで取り付けてください。

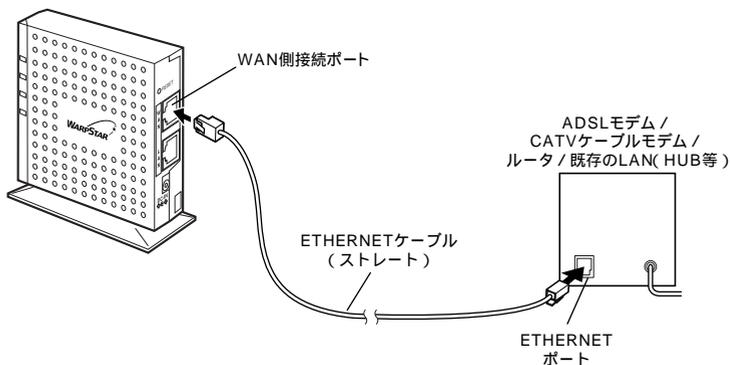
（ネジは添付されておりません。 3mmのネジをお買い求めのうえ取り付けてください。）

2-2 WL54AP を接続する

WL54APとADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) を接続する



- 1 ADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) の電源が入っていることを確認する
- 2 WL54APのWAN側接続ポートとADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) のETHERNETポートを添付のETHERNETケーブル (ストレート) で接続する

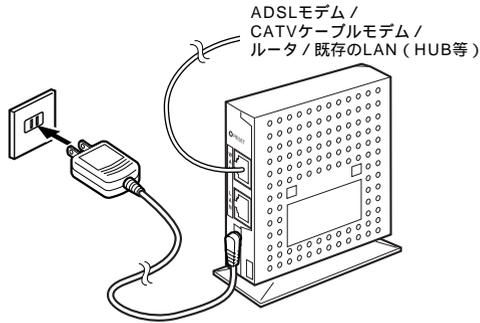


CATVケーブルモデムなどでは、クロスケーブルが必要となる場合があります。
(別途ご用意ください。)

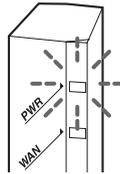
(次ページに続く)

3 ACアダプタをWL54APに取り付ける

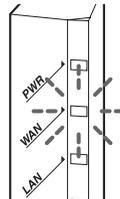
4 WL54APのACアダプタを電源コンセントに接続する



5 WL54APのPWRランプが緑点灯することを確認する
PWRランプは数十秒間緑点滅したあと、緑点灯します。



6 WL54APのWAN側接続ポートとADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) が正しく接続されていると、WL54APの前面のWANランプが緑または橙点灯する



7 WL54APのAIRランプが緑点滅することを確認する



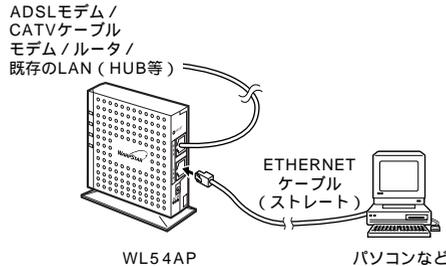
お知らせ

ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB 等) の電源は、あらかじめ入れておいてください。

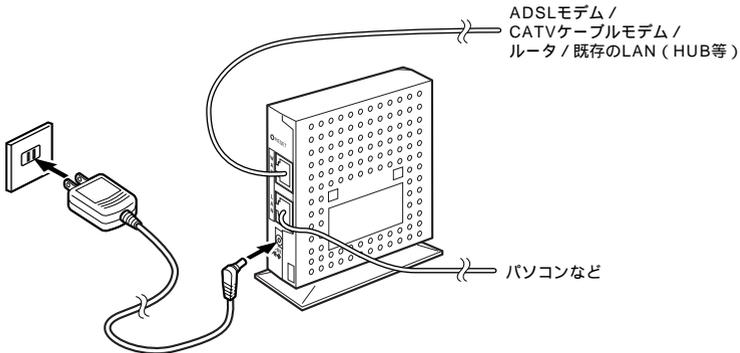
WL54AP の LAN 側接続ポートにパソコンなどを接続する場合

WL54AP の LAN 側接続ポートにパソコンまたはゲーム機などを接続する場合は、以下の手順で接続してください。

1 WL54AP の LAN 側接続ポートとパソコンなどの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続する

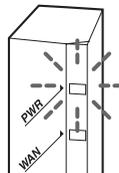


2 AC アダプタを AC アダプタ接続コネクタと電源コンセントに接続する



3 PWR ランプが緑点灯することを確認する

PWR ランプは数十秒間緑点滅したあと、緑点灯します。

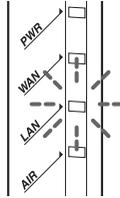


(次ページに続く)

4

WL54APのLAN側接続ポートとパソコンが正しく接続されていると、WL54APの前面のLANランプが緑または橙点灯する

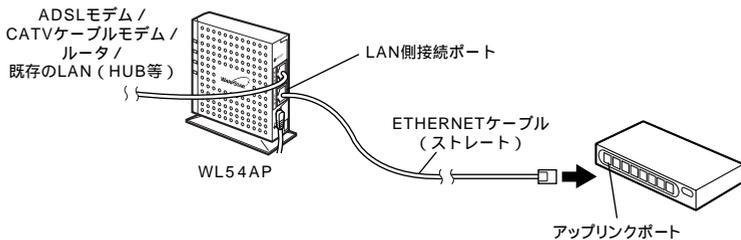
WL54APのWAN側接続ポートにADSLモデム/CATVケーブルモデム/ルータ/既存のLAN(HUB等)が正しく接続されていれば、WL54AP前面のWANランプも緑または橙点灯します。



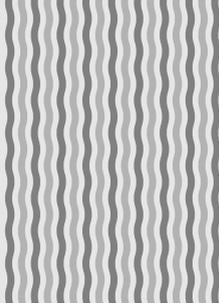
! HUBと接続する場合

< HUBのアップリンクポートを接続する場合 >

WL54APのLAN側接続ポートとHUBのアップリンクポートをETHERNETケーブル(ストレート)で接続する



HUBにアップリンクポートがない場合は、市販のETHERNETケーブル(クロスケーブル)で接続してください。



3

設定する

3-1	WL54AP を設定する	3-2
3-2	子機を使用する	3-19
3-3	WWW ブラウザでの設定について	3-20

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

3-1 WL54AP を設定する

WL54AP を設定するためには、直接ETHERNET ポートで接続した WWW ブラウザが使えるパソコンが必要です。ゲーム機から設定することはできません。また、WARPSTAR サテライトからの設定は行わないでください。

Aterm WL54AP ワイヤレス LAN セットをご購入いただいた場合は、すでに WL54AP の無線設定が行われた状態で出荷していますので、本章での設定は必要ありません。

ネットワーク名 (ESS-ID) ・暗号化キー (WEP) の変更を行う場合は、本章を参照して設定を行ってください。

また、WL54AP を初期化した場合は、無線設定が初期化されますので再設定を行ってください。

WL54AP の設定は次のような手順で行います。

WL54AP を設定するためのパソコンを準備する。 (☞P3-3)



WL54AP を設定するためのパソコンと、WL54AP を接続する。(☞P3-10)



パソコンの IP アドレスを設定する。(☞P3-11)



WL54AP を設定する。(☞P3-15)

パソコンを準備する

設定用のパソコンにETHERNETポートが装着されていない場合

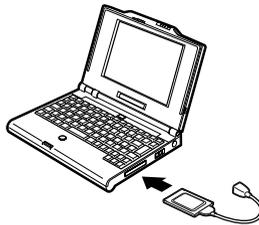
設定を行うには、パソコンにETHERNETポートの準備が必要です。お使いのパソコンにETHERNETポートがない場合は、WL54APの設置を始める前に、LANボードまたはLANカードを取り付けて、増設してください。

取り付け後は、LANボード/LANカードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。正しく動作していない場合は、先にLANボード/LANカードの問題を解決してからWL54APの設置を行ってください。

ノート型パソコンの場合

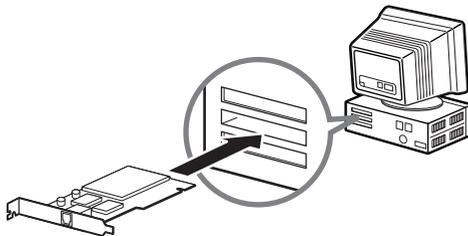
ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットにLANカードを取り付けます。(内蔵されている場合もあります)

PCカードスロットの規格や添付ソフトには種類があるので、お使いのパソコンに対応したLANカードをご利用ください。



デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合

デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合は、拡張スロットにLANボードを取り付けます(内蔵されている場合もあります)。スロットにはPCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンで空いているスロットの種類を確認してから対応したLANボードを取り付けてください。



WWW ブラウザのバージョンを確認する

WL54AP を設定するための WWW ブラウザは以下のバージョンに対応しています。

- Microsoft Internet Explorer 5.5 以上 (Windows 版)
- Microsoft Internet Explorer 5.1 以上 (Mac 版)
- Netscape 6.1 以上 (Windows 版)
- Netscape 6.01 以上 (Mac 版)

指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。
正しくご使用いただくためには、指定のブラウザでご使用ください。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) の設定を「ダイヤルアップ接続しない」に変更します。

以下は Windows® XP で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境 (プロバイダやソフトウェア等) によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。

[ツール] の [インターネットオプション] を選択します。

[接続] タブをクリックします。

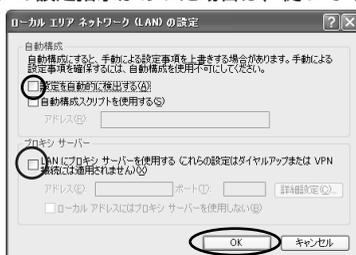
ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択してください。



[LAN の設定] をクリックします。

「設定を自動的に検出する」と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の をはずして、[OK] をクリックします。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



[OK] をクリックします。

お知らせ

プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム (プロバイダへの申し込みソフト) は、ダイヤルアップ接続 (モデムやターミナルアダプタの接続) 専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

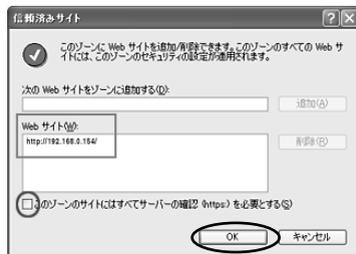
JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer の場合

Windows® XP の場合 (Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。)

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [クラシック表示に切り替える] - [インターネットオプション] をダブルクリックする
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 3 [サイト] をクリックする
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックをはずす
- 5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://192.168.0.154/」を入力して [追加] をクリックする
WL54AP の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。
(IP アドレスの変更 ← P3-21)
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き (矢印) をクリックし、画面をスクロールする



8 [アクティブ スクリプト]を[有効にする]に変更し、[OK]をクリックする



9 [OK]をクリックする

Mac OS X の場合 (Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。)

1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの [Explorer] から [環境設定] をクリックする

2 [Web ブラウザ] から [セキュリティゾーン] をクリックする

3 [ゾーン] から [信頼済みサイトゾーン] をクリックする

4 [サイトの追加] をクリックする



5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックをはずす

6 [追加] をクリックする

7 「http://192.168.0.154/」と入力する

WL54AP の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。
(IP アドレスの変更 ➡ P3-21)

8 [OK] をクリックする

9 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする

10 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる

11 [OK] をクリックし、メニューバーの [Explorer] から [Explorer 終了] をクリックする

アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

セキュリティレベルを「高」に設定している場合、またはカスタム設定で [スクリプト] の [スクリプトの実行] を「無効」に設定している場合には、同現象が発生します。設定時にセキュリティレベル「低」に変更していただくかカスタム設定の [スクリプトの実行] を「有効」に設定してください。

Netscape の場合

Windows® XP の場合 (Netscape のバージョン 7.0 の例です。)

- 1 Netscape を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
- 4 [Javascript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックする

Mac OS の場合 (Netscape のバージョン 6.1 の例です。)

- 1 Netscape を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] を選択する
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] をクリックする
- 4 [Javascript を有効にする] にチェックを入れる



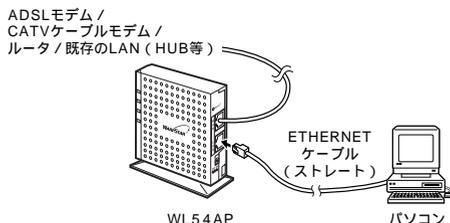
- 5 [OK] をクリックし、メニューバーの [Netscape] から [Netscape を終了] をクリックする

アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

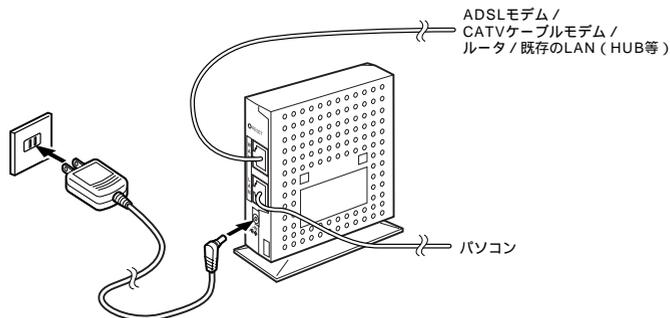
WL54AP にパソコンを直接接続する

WL54AP を設定するためのパソコンと、WL54AP を接続します。

- 1 WL54AP の LAN 側接続ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブル (ストレート) で接続する

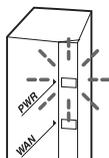


- 2 ACアダプタをACアダプタ接続コネクタと電源コンセントに接続する



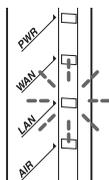
- 3 PWRランプが緑点灯することを確認する

PWRランプは数十秒間緑点滅したあと、緑点灯します。



- 4 WL54AP の LAN 側接続ポートとパソコンが正しく接続されていると、WL54AP の前面の LAN ランプが緑または橙点灯する

WL54AP の WAN 側接続ポートに ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) が正しく接続されていれば、WL54AP 前面の WAN ランプも緑または橙点灯します。



パソコンのIPアドレスを設定する

WL54APに接続したパソコンからWL54APの設定を行うには、パソコンのIPアドレスの設定が必要です。

あらかじめパソコンとWL54APが正しく接続されていることを確認してください。(☞P3-10)

! パソコンのIPアドレスについて

WL54APの設定が終了したあとは、お使いのADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) に合わせたIPアドレスに設定を戻してください。

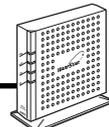
WL54APの設定時：192.168.0.XXX (XXXは2～153、155～254)

例：192.168.0.222



設定

192.168.0.154



パソコン

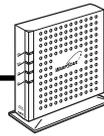
WL54AP

[参考] WL54APの設定後の例：お使いのADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) に合わせたIPアドレス

例：192.168.1.2



パソコン



WL54AP

例：192.168.1.1



ADSLモデム /
CATVケーブルモデム /
ルータ / 既存のLAN (HUB等)

例：192.168.1.3



ノートPC



WL54AC

Windows® Me/98/98SE の場合

[スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択する。

ネットワークのアイコンをダブルクリックする。

リストの中の TCP/IP プロトコルのうち WL54AP に接続しているネットワークアダプタ名を選択し、[プロパティ] をクリックする。



[IP アドレス] タブをクリックする。

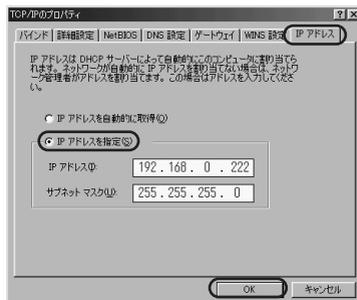
[IP アドレスを指定] をクリックし、IP アドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 153、155 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク :

255.255.255.0



[OK] をクリックする。

[OK] をクリックし、画面の指示に従って Windows® を再起動する。

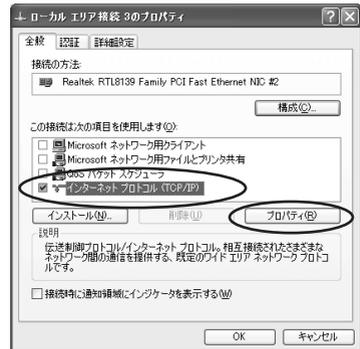
Windows® XP/2000 Professionalの場合

画面はWindows® XPの例です。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [クラシック表示に切り替える]
[ネットワーク接続]をクリックする。

WL54APを使用しているネットワークアダプタ名の[ローカルエリア接続]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

リストの中から[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。

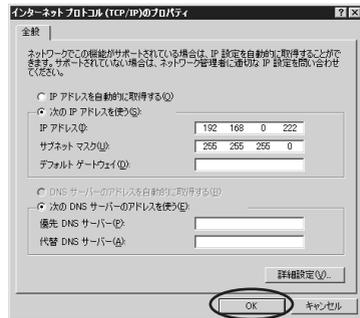


[次のIPアドレスを使う]をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力する。
IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～153、155～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



[OK]をクリックする。

[閉じる]または[OK]をクリックする。

Mac OS 8.x/9.x の場合

アップルメニューの [コントロールパネル] - [TCP/IP] を開く。

[経由先] を [Ethernet] にする。

[設定方法] を [手入力] にし、[IP アドレス] と [サブネットマスク] を次のように入力する。

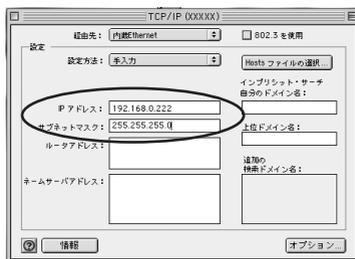
IP アドレス:

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 153、155 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク:

255.255.255.0

画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。



確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS X の場合

アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンをクリックする。

[表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [手入力] にする。

[IP アドレス] と [サブネットマスク] を次のように入力する。

IP アドレス:

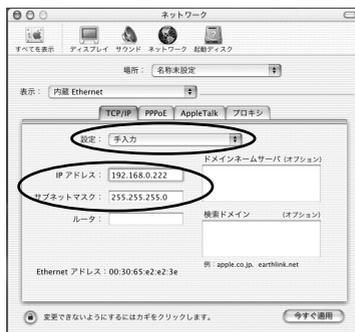
192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 153、155 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク:

255.255.255.0

[今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。



WL54AP を設定する

WL54APの設定を行います。

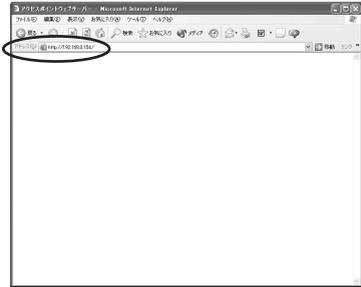
ワイヤレスLANセットの場合は、以下の設定は不要です。

ただし、必要に応じてネットワーク参照の拒否 (☞P3-16)、MACアドレスフィルタリング (☞P3-18) をお使いいただく場合は、以下で設定を行ってください。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動して、アドレス欄に「http://192.168.0.154/」と入力し、設定画面を開く

WL54APのIPアドレスを変更した場合は、そのアドレスを入力してください。(IPアドレスの変更 ☞P3-21)



3 ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには「public」と入力します。(「admin」・「public」は半角小文字で入力してください。)

ユーザー名(管理者名) パスワード(管理者パスワード)を変更した場合は、設定した値を入力してください。また、パスワードはあとで変更してください。(☞P3-21)



4 [OK] をクリックする

5 タイトルまたは画像をクリックする



(次ページに続く)

6

ネットワーク名を入力する
 ネットワーク名 (ESS-ID) に、無線 LAN 機器が通信するお互いを認識する ID としてネットワーク名を設定します。
 ネットワーク名は、無線ネットワーク内で使用するネットワーク名 (任意の名前) を入力してください。(英数字半角文字で 1 ~ 32 文字までとなります。)
 ワイヤレスセットの場合は設定済みになっています。
 ただし、初期化した場合は初期値「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXX は本体側面に貼付の WAN / LAN の MAC アドレス下 6 桁) になりますので、無線 LAN 設定ラベル (本体底面に貼付) のネットワーク名に書き換えてください。



[使用するチャンネル] は特に変更する必要はありません。
 ただし、複数のアクセスポイントを使用する場合や、他の無線 LAN が同一のチャンネルを使用している場合は、無線干渉が発生することがありますので、使用するチャンネルを変更してください。



7

[ネットワーク参照の拒否] にチェックする
 チェックすることにより、第三者の子機から親機を参照された場合に検索できないようにガードすることができます。
 WL54AP に、ネットワーク参照の拒否を設定した場合、WL54AC (子機) を接続したパソコンが Windows® XP のときには Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止して、サテライトマネージャでネットワーク名 (ESS-ID) を設定してください。(WL54AC「ご使用になる前に」を参照してください。)
 この画面で他の設定を行う場合は、「WWW ブラウザでの設定について」[基本設定] (P3-21) を参照してください。



8

[設定] をクリックする

9 暗号化設定を行わない場合は、手順 15 へ進む
暗号化設定を行う場合は、手順 10 へ進む

10 画面左のメニューから [暗号化設定] をクリックする

11 暗号化 (WEP) の設定を行う

ユーザが指定した任意の文字列(暗号化キー)をWL54APと子機に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

これにより、送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

ワイヤレスセットの場合は暗号化キー 1 番が設定済みになっています。ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので、無線 LAN 設定ラベル(本体底面に貼付のラベル)の暗号化キーに設定し直してください。(暗号化強度は[64 bit]を選択してください。)



無線ネットワーク内の暗号化を行う場合は、以下の手順で設定してください。

[暗号化 (WEP) を有効にする] にチェックします。

暗号化キーを入力してください。

暗号化キーは 4 種類登録することができます。(0 ~ 9、a ~ f、A ~ F で構成される文字列で入力します。)

暗号化強度を [64 bit] [128 bit] [152 bit] から選択してください。

使用する暗号化キー番号を選択してください。

[設定] ボタンをクリックしてください。

12 画面左のメニューから [MAC アドレスフィルタ] をクリックする



13 MAC アドレスフィルタリングの設定を行う

[MAC アドレスフィルタリングの設定] の [有効] を選択することにより、あらかじめ登録しておいた MAC アドレスを持つ子機とのみ無線接続するように制限できます。MAC アドレスフィルタリングの設定を行うには、[有効] を選択して、[設定] をクリックし、[追加編集] をクリックしてください。

[MAC アドレス] に登録したい子機の MAC アドレスを入力し、[登録] をクリックしてください。(16 件まで登録できます。)

子機の MAC アドレスは子機の裏側に記載しています。

MAC アドレスは、2 桁ごとに「 : 」で区切って入力してください。



14 [設定] をクリックする

15 [再起動 & 登録] をクリックする WL54AP が再起動し、設定が登録されます。



以上で設定は終了です。

この他の設定内容を変更する場合は、「3-3 WWW ブラウザでの設定について」(P3-20) を参照してください。

! 重要

WL54AP の設定が終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境に合わせて戻してください。

3-2 子機を使用する

WL54AP と接続できる子機は、IEEE802.11a 対応の WL54AC となります。
(2002 年 11 月現在)

子機を WL54AP に接続して使用するには、WL54AP に設定されているネットワーク名と暗号化の設定を行う必要があります。

Aterm WL54AP ワイヤレス LAN セットの場合は、ネットワーク名と暗号化の設定は設定済みになっています。(セットに添付の「つなぎかたガイド」を参照してください。)

WL54AC を子機として増設する場合は、WL54AC に添付している WL54AC 取扱説明書に従って設定を行ってください。

利用できるワイヤレス子機の最新情報は、ホームページ Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) にてご確認ください。

3-3 WWW ブラウザでの設定について

WWW ブラウザの設定画面のそれぞれの項目について説明します。
設定の変更が必要な場合は、設定を行ってください。



WWW ブラウザの設定画面の起動方法

WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.154/」と入力して、ユーザー名「admin」・パスワード「public」を入力してください。
(ユーザー名・パスワードは設定画面【基本設定】で変更することができます。)

設定の登録方法

設定内容の変更を行う際は、必ずそれぞれのウィンドウで [設定] をクリックしてください。

最後に [再起動 & 登録] をクリックすると、WL54AP を再起動し、設定を WL54AP に書き込みます。

バージョン表示

ファームウェアのバージョンが表示されます。



状態表示

WL54AP の無線側の MAC アドレスと、WL54AP にアクセスしている子機の MAC アドレスが表示されます。



基本設定



- [ネットワーク名 (ESS-ID)] 無線 LAN 機器が通信するお互いを認識する ID として
必須 ネットワーク名を設定します。
ネットワーク名は、無線ネットワーク内で使用するネット
ワーク名 (任意の名前) を入力してください。(英数
字半角文字で 1 ~ 32 文字までとなります。)
- [使用するチャネル] プルダウンメニューから使用するチャネルを選択でき
ます。(初期値は自動設定です。)
- [ネットワーク参照の拒否] チェックすることにより、第三者の子機から親機を参
照された場合に検索できないようにガードすることが
できます。
WL54AP に、ネットワーク参照の拒否を設定した
場合、WL54AC (子機) を接続したパソコンが
Windows® XP のときには Windows® XP のワイ
ヤレスネットワークの設定を停止して、サテラ
イトマネージャでネットワーク名 (ESS-ID) を設定
してください。(WL54AC 「ご使用になる前に」
を参照してください。)
- [IP アドレス] WL54AP の IP アドレスを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxx の形式で設定してください。(初期
値は 192.168.0.154 です。)
- [サブネットマスク] ネットマスクを設定します。
(初期値は 255.255.255.0 です。)
- [管理者名 (ユーザー名)] ユーザー名を設定します。(初期値は admin です。)
使用できる文字は英数字半角文字で、最大 31 文字ま
です。
- [管理者パスワード] パスワードを設定します。(初期値は public です。)
使用できる文字は英数字半角文字で、最大 32 文字ま
です。

暗号化設定

無線ネットワーク内の通信を暗号化できます。

設定方法については P3-17 手順 11 を参照してください。

MAC アドレスフィルタリング

無線ネットワークに接続できる子機の MAC アドレスを登録することで制限できます。

設定方法については P3-18 手順 13 を参照してください。

バージョンアップ

最新のファームウェアに更新することができます。

バージョンアップを行えるのは Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE のみです。

更新は下記の手順で行います。

(詳細については、ホームページ Aterm Station を参照してください。)



1 新しいファームウェアをホームページ Aterm Station からダウンロードする

ホームページ Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスします。バージョンアップの項目からお使いの機種と OS を選択し、[GO] をクリックします。内容をよく読んでご利用になるファームウェアをダウンロードします。その際、保存先のフォルダ及びファイル名を控えてください。

ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断します。

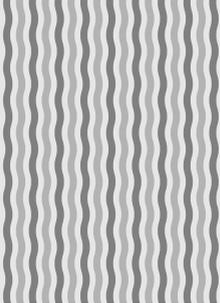
2 ダウンロード終了後、WWW ブラウザの【バージョンアップ】の画面でバージョンアップを行う

WWW ブラウザを起動し、画面左のメニューから【バージョンアップ】の画面をクリックします。

下記項目を入力した後、[更新] をクリックしてください。

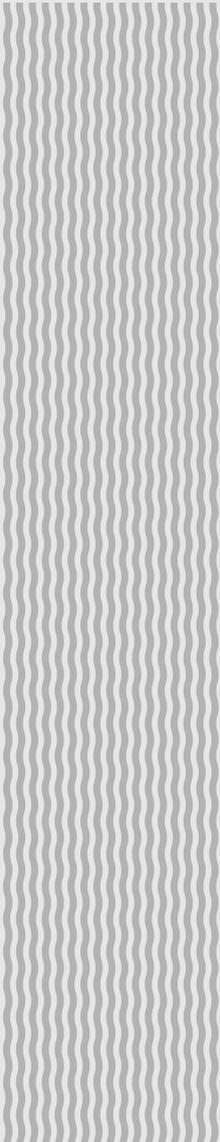
ホスト (PC) IP アドレス : お使いのパソコンの IP アドレス

ファイル名 : ダウンロードしたファームウェアを保存したフォルダ及びファイル名



4

お困りのときは



4

- 4-1 トラブルシューティング4-2
- 4-2 WL54AP を初期化する4-3

4-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WL54APを初期化し(☞P4-3)、初めから設定し直してみてください。初期化を行うとWL54APの無線設定を含むすべての設定が初期値に戻りますのでご注意ください。

設置に関するトラブル

症 状	原因と対策
電源を入れたとき PWRランプが点灯しない	電源が入っていません。 ACアダプタ(電源プラグ)がはずれている ACアダプタ(電源プラグ)を電源コンセントに差し込んでください。 ACアダプタ(電源プラグ)がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWL54APに供給されている電源も切れてしまいます。 ACアダプタ(電源プラグ)が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ(電源プラグ)をコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店やNEC保守サービス受付拠点にご相談ください。

通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
通信できない	接続されているモデム/ルータの電源が入っているか、確認してください。 モデム/ルータにETHERNETケーブルが確実に接続されているか、確認してください。 設定が正しく行われているか確認してください。(☞P3-15)
通信が途切れる	隣接・同一フロアで同じ無線チャネルを使用している機器があると、電波干渉が発生して通信が不安定になる場合があります。 使用する無線チャネルを変更してください。 WWWブラウザの設定画面を起動する。 (起動方法はP3-20を参照してください。) [基本設定]画面が表示される。 [使用するチャネル]のプルダウンメニューからチャネルを選択する。
WL54APが正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある場合があります。 WL54APの設定を確認してください。(☞P3-15) どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(☞P4-3)

4-2 WL54AP を初期化する

WL54AP に設定した内容を消去して初期値 (P4-4) にします。WL54AP がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL54AP を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

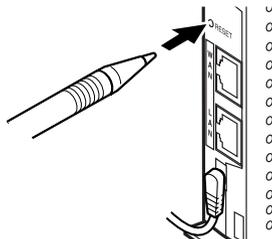
また、セット品の場合は、初期化すると工場出荷時の設定 (無線設定と暗号化キーの設定) が初期値になりますので、再設定が必要になります。(「3-1 WL54AP を設定する」P3-2 参照)

スイッチで初期化する

1 WL54AP の電源が入っていることを確認する

2 WL54AP の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで PWR ランプが消灯するまで押し続ける

PWR ランプが消灯する前にリセットスイッチをはなすと、再起動はしますが、初期化はされません。



3 リセットスイッチからボールペンなどをはずす

4 WL54AP の前面の PWR ランプが緑点灯することを確認する

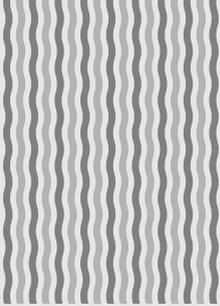
4

お困りのときは

WL54APの初期値とワイヤレスLANセットの工場出荷時の設定値
 WL54APを初期化すると、表の「初期値」になります。

なお、ワイヤレスLANセットの場合、工場出荷時の設定値は初期値とは異なります。

設定項目		工場出荷時の設定値 (ワイヤレスLANセットの場合)	初期値	
基本設定	ネットワーク名 (ESS-ID)	WL54AP-XXXXXX XXXXXX は無線 LAN 設定ラベル (本体底面に貼 付)に記載	WARPSTAR-XXXXXX XXXXXX は WAN / LAN の MAC ア ドレス下 6 桁 (本体側面に記載)	
	ネットワーク参照の拒否	OFF	OFF	
	IP アドレス	192.168.0.154	192.168.0.154	
	サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	
	管理者名 (ユーザー名)	admin	admin	
	管理者パスワード	public	public	
暗号化設定	暗号化 (WEP) の設定	有効	無効	
	使用する暗号化キー番号	キー 1	無し	
	暗号化キー	キー 1	無線 LAN 設定ラベル (本体底面に貼付)に記載	未設定
		キー 2		
		キー 3	未設定	
キー 4				
MAC アドレス フィルタリング	MAC アドレスフィルタリングの設定	無効	無効	
	接続を許可する MAC アドレス	無し	無し	



5

付録

- 5-1 WL54AP製品仕様5-2
- 5-2 お問い合わせ・アフターサービス5-3

5-1 WL54AP製品仕様

仕様一覧

項目		諸元および機能	
WAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切換)	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切換)	
無線LAN インタフェース	規格	IEEE802.11a (無線LAN標準プロトコル) ARIB STD-T71 (小電力データ通信システム規格)	
	周波数帯域/チャネル	5.2GHz帯 (5150~5250MHz) / 34/38/42/46ch	
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/6Mbps (自動フォールバック)	
	伝送距離	クローズド (屋内見通し) : 12m (54Mbps) ~ 90m (6Mbps)	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)	
	セキュリティ	ESS-ID (ESS-IDステルス機能あり) 64bitWEP / 128bitWEP / 152bitWEP / MACアドレスフィルタリング	
ヒューマン インタフェース	状態 表示 ランプ	PWR	電源通電時点灯
		WAN	WANインタフェースリンクアップ時点灯、データ通信時点滅
		LAN	LANインタフェースリンクアップ時点灯、データ通信時点滅
		AIR	ワイヤレスLAN通信接続時遅点滅、データ通信時早点滅
	リセットスイッチ	リセットスイッチ	
動作環境	温度0~40 湿度10~90% (結露しないこと)		
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz (ACアダプタ)		
消費電力	約8.0W (最大)		
外形寸法	約25(W) × 102(D) × 102(H)mm (突起物を除く) (壁掛け可能)		
質量 (本体のみ)	約0.13kg		

表示の速度は規格によるものであり、ご利用環境や接続機器などにより実効速度は異なります。屋外での使用は電波法により禁じられています。

ご注意

お問い合わせ・アフターサービス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

お願い

5

付録

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

END USER LICENSE AGREEMENT

- 1. License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:
Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.
- 2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.
- 3. Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.
- 4. U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).
- 5. Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

ご注意

Aterm Station ホームページアドレス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ 安心の保証サービス (PDF)」を参照してください。

Aterm(エーターム)インフォメーションセンター

お願い

この取扱説明書は、古紙配合率 100 % の再生紙を使用しています。